

# アドバンスドコミュニティヘルスインターンシップ (ACHI)

科目責任者 鈴木圭輔  
学年・学期 3学年・2学期

## I. 前 文

医師には患者を思いやる暖かい心としっかりした倫理観が強く求められている。

本学病院において医療チームに加わり、その臨床現場に参加して、診療相手や関係者の心を理解し信頼関係を築く課題を学習する。医学は人の心を扱う科学であることを基本として、複雑で重要な各種医療専門職の役割と関連を理解し、チームワークの重要性を確認する。医療現場の中で人生や生活を見つめ、生活の原点にたった人間理解を医学の準備教育とする。

自らも人間性豊かな医師を求め歩む貴重な体験になることを願うものである。

## II. 担当教員

内科学（神経）教授 鈴木圭輔  
医学教育学 教授 山内かづ代  
他 各担当教員

## III. 一般学習目標

- 1) 医療の原点を理解し、技術だけの医療人ではなく人間性豊かな医師としての心構えを身につける。
- 2) 最先端の医療がどのようなものであるかに接し、今後の学習に役立てる。
- 3) 医療機関を受療される方の生活背景や多様な生き方を理解する。
- 4) 医療チームを構成している多職種役割を理解する。
- 5) あらゆる人とのコミュニケーションで大切だと考えたことは何かを学習する。
- 6) 多職種連携医療と患者中心の医療を学び、常にやさしさと思いやりをもって行動する。

## IV. 学修の到達目標

- 1) 臨床現場における的確な判断、人との対応、チームワークの重要性を知る。
- 2) 実習を通じ、臨機応変に行動することを学ぶ。
- 3) 医療現場の一日の流れを理解し、可能なことは体験する。
- 4) あらゆる人と、できる限りコミュニケーションの機会をつくり対話する。

## V. 授業計画及び方法 \* ( ) 内はアクティブラーニングの番号と種類

- (1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)  
2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション  
6: その他 空欄: 該当なし)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
1	10	14	水	3	ガイダンス	鈴木圭輔 山内かづ代	1
2-5		21	水	1-4	09:00~ 看護部講義 11:00~ 服装・身だしなみ確認 13:00~ 臨床講話 (予定)	鈴木圭輔 山内かづ代 看護部外部講師	1
6-12		22	木	1-7	各科配属実習	各科担当教員	4

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担当者	アクティブ ラーニング
13-19	10	23	金	1-7	各科配属実習	各科担当教員	4
13-19		23	金	1-7	各科配属実習	各科担当教員	4

#### VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

- 1) 各実習レポートの提出（70%程度）・実習態度等（30%程度）により評価を行う。
- 2) 実習を欠席した者、評価にて必要があると認められた者については、再実習を行う。
- 3) 無断での遅刻・欠席、レポートの提出遅延等で減点を行うことがある。

#### VII. 教科書・参考図書・AV資料

指定しない。

#### VIII. 質問への対応方法

随時、受け付ける。但し、事前に秘書を通じ、アポイントを取ること。

#### IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

\*◎：最も重点を置く DP ○：重点を置く DP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	
医師としてのプロフェッショナリズム 幅広い教養、利他の精神、医師に求められる品格を身につけ、豊かな人間性を育み、他の医療者と協調して、多様な価値観を尊重する全人的な医療を実践できる	◎
能動的学修能力 医学知識・技能を主体的に学び、情報・科学技術を活用して、生涯にわたって自ら問題を発見し、解決することができる	○
地域医療の理解 地域社会における医療の役割と、その中核を担う意味を理解できる	○
国際性 国際社会における医学・医療の動向や課題を理解し、課題解決に向けて行動することができる	
リサーチマインド 研究活動における積極的な創造・発信に挑み、医学・医療の進歩に貢献することができる	

#### X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

VIIIに記載の方法で質問を受け付ける。

#### XI. 求められる事前学習、事後学習およびそれに必要な時間

事前学習（30分）※適宜：病院実習にふさわしい身だしなみを整える。

事後学習（60分/日）：実習を振り返り、レポートをまとめる。

#### XII. コアカリ記号・番号

PR-01-01-01 患者や社会に対して誠実である行動とはどのようなものかを考え、そのように行動する(利益相反等)。

PR-01-01-02 社会から信頼される専門職集団の一員であるためにはどのように行動すべきかを考え、行動する。

PR-02-03-01 医師に求められる品格とはどのようなものかを考え、それを備えるように努める。

PR-02-03-02 礼儀正しく振る舞う。

CM-01-01-01 言語的コミュニケーション技能を発揮して、良好な人間関係を築くことができる。

CM-01-01-02 非言語的コミュニケーション(身だしなみ、視線、表情、ジェスチャー等)を意識できる。

IP-02-04-01 病院・診療所・施設等の職場環境やチームや部門等の所属に応じた他職種の役割を理解している。